

そしりょうた 曾雌竜太さん

学校教育学部
言語系コース4年

平成4(1992)年、愛知県生まれ。3歳からサッカーを始め、高校3年生の時にはインターハイに出場した。1浪後の23(2011)年に入学。NPO法人生涯学習サポート兵庫のボランティアスタッフ、兵庫冒険教育のファシリテーターなどを務め、学内でも昨春から教育について語り合う場「教育ビルド」を始めた。



↑水曜20:00から附属図書館で開催。学部生も院生も自由に参加できる

「教育を高め合う機会はもっと必要だと思ったのです」
教育について語り合う場「教育ビルド」を主宰して1年になる。「議論を積み重ねる」という意味で名付けた会話は水曜夜、附属図書館で開催。議論のテーマは前もって設定せず、当日に決めるのがルールだという。

「授業や実習で学んだこと、気になったことなどタイムリーな話題を選ぶようにしています」

これまでに採用されたテーマは「保護者対応」「左利きの子どもへの配慮」など具体的な課題から、「教育とは何か」といった概念的なものまで幅広い。「回を重ねるごとに参加者が増えてきました。みんなの発言を聞き、こんな考え方もあるのかと、ハッとさせられる瞬間が一番楽しいですね」

3歳からサッカーを始め、高校時代にはインターハイに出場。しかし、強豪大学への進学はかなわず、兵教大に入学後は教育関係のボランティア

に従事し、学内でも「好きな本を紹介し合う会」や、課外活動に取り組む学生を集めた「情報交換交流会」などを開いてきた。

「サッカーをやめるのは大きな決断でしたが、兵教大では4年間を学びに関する活動に充てた方が得るものは大きいだろうという結論に至りました」

教育ビルドが自身の過去の学内活動と異なるのは、仲間と一緒に立ち上げたことだ。「自分が抜けても継続できるものにしたかったです。僕たちの代が卒業した後は、後輩が語り合う場を引き継いでくれたら」と願う。

学生の研究や活動の発信を目的に教材文化資料館で開催中の「自分展」に教育ビルドのブースを出展。学内の認知度もさらに高まってきた。7月には教員採用試験前の一区切りとして、50人規模の教育ビルドを計画している。「初めての人にも参加してもらいたいです。さまざまな意見が飛び交い、新たな発見を得られるのを楽しみにしています」

みんなで 教育について 語り合い 学びを高めたい

キラリな人 SHINY PERSON



- 第21回テーマ 今週の学びを5分間で伝えよう
- 第20回テーマ 教育ビルドの振り返り
- 第19回テーマ 感想をどのような視点からみていくか
- 第18回テーマ 要領がいつてなに
- 第17回テーマ 企画をしよう
- 第16回テーマ 教育ビルドを紹介するには？
- 第15回テーマ 学びとはなにか？
- 第14回テーマ 模擬授業 教育ファシリテーターについて
- 第13回テーマ 食育について
- 第12回テーマ 10分
- 第11回テーマ 実践れという書
- 第10回テーマ 実習の振り返り
- 第9回テーマ 保護者対応
- 第8回テーマ 人間関係の構築
- 第7回テーマ
- 第6回テーマ
- 第5回テーマ 夏休みの振り返り
- 第4回テーマ 自分を知ろう・他己分析
- 第3回テーマ 学級開きについて考える
- 第2回テーマ コミュニケーションについて考えるワークショップ
- 兵庫教育

を自分たちで

兵教大(神戸市) 附属図書館(兵庫区) 27人(男) 専攻 言語系コース4年 21歳

対話やワークショップなどの活動を行っています。外部から現職の先生を招くなど様々な立場から教育

たからです。

「経験」という財産を手に入れることができる。それをどう使うかは自分次第だと思うからこそ、社会

「学びたい」です。